２０２５年6月８日（日）

日本基督教団　大宮教会

大宮教会ビジョン
「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -
（マタイによる福音書28：19～20）

聖霊降臨節第１主日

ペンテコステ

朝第１礼拝　9:00～10:00
朝第２礼拝　10:30～11:45

〈神の招き〉
前奏①
②　来ませ、創造者なる聖霊よ　バッハ
招きの詞　使徒言行録２：１～４
交読詩編　５１：１２～１９
讃美歌　３４２

〈神の言葉〉
聖書　ヨエル書３：１～２
（旧約　聖書協会共同訳 1405 頁）
ローマの信徒への手紙５：１～５
（新約　聖書協会共同訳 274 頁）
祈祷
奉唱②３４７
信仰告白②日本基督教団信仰告白
転入会式②
讃美歌　５４
説教　「聖霊・神の愛が私たちの心に」
熊江秀一牧師
祈祷
讃美歌　３４３
聖餐
讃美歌　８１

〈神への応答〉
信仰告白①日本基督教団信仰告白
献金
主の祈り
宣教報告②
頌栄　２７
派遣と祝福
後奏①
②　来ませ、創造者なる聖霊よ　ヴァルター
宣教報告①

夕礼拝　18:00～19:00

〈神の招き〉
前奏　来ませ、創造者なる聖霊、主なる神　ツァッハウ
招きの詞　使徒言行録２：１～４
交読詩編　５１：１２～１９
讃美歌　１９

〈神の言葉〉
聖書　ミカ書５：１～５
（旧約　聖書協会共同訳 1433 頁）
ルカによる福音書２：１～７
（新約　聖書協会共同訳 101 頁）
祈祷
讃美歌　３４３
説教　「神のご支配」　佐藤潤伝道師
祈祷
黙想
讃美歌　３５５
聖餐　熊江秀一牧師
讃美歌　８１

〈神への応答〉
信仰告白　日本基督教団信仰告白
献金
主の祈り
宣教報告
頌栄　２７
派遣と祝福
後奏　来ませ、創造者なる聖霊、主なる神　パッヘルベル

今週の御言葉（ローマの信徒への手紙５：５）
この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。

次週の礼拝（６月１５日）子どもの日・花の日

①　９：００	②１０：３０	夕１８：００
説教「主イエスとニコデモ」 熊江秀一牧師 民数記21：4～9、 ヨハネによる福音書3：1～21 交読詩編99：1～9 讃美歌 7、51、484、27	(教会学校との合同礼拝) 説教「ノアのはこぶね」熊江秀一牧師 創世記６：１４～２２、 ヘブライ人への手紙１１：６～７ こども交読詩編(2)詩編８編より 讃美歌351(12)、470(114)、544(118)、24(25)	説教「大きな喜びを告げる」 佐藤潤伝道師 イザヤ書9：1～9、 ルカによる福音書2：8～21 交読詩編99：1～9 讃美歌10、127、280、27

＊礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。＊◦は祈祷当番の方。＊①は朝第１礼拝、②は朝第２礼拝、夕は夕礼拝。

■今週の祈祷課題■　独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1.キリストの体なる教会が豊かに形成される為に　2.東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3.聖霊の恵みに感謝して　4.子どもの日・花の日合同礼拝の為に　5.各部例会の為に
6．関東教区の為に　7.イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、世界の平和の為に
8.病気の兄姉の為に

＊関東教区お祈りカレンダー　三条教会　見附教会　栃尾教会

◇先週の説教より　「気をつけて歩もう」マルコによる福音書13章14〜27節、ダニエル書7章13〜14節　　熊江秀一牧師

今日もマルコの小黙示録が与えられた。この書が告げることは滅びではなく、救いの完成である。そこで芽生えるのは信仰と希望である。

主は宣言する。「主はご自分のものとして選ばれた人たちのために、その期間（苦難の時）を縮めてくださった」。これは主が救いを与えたという宣言である。その救いは「選ばれた人たち」(教会)に与えられた。そして主の再臨の時、彼らをご自分のもとに集める。だから私たちは主を見上げ、希望をもって福音を宣べ伝える。

しかし現実は厳しい。この福音書の当時も厳しい現実であった。主の預言の通り、人々はエルサレムの荒廃を経験していた。ユダヤ戦争によるローマ軍の侵攻である。また直接の読み手のローマ教会も皇帝ネロによる大迫害を受けていた。ここで主が預言した苦難は、彼らに実現していた。

また都への侵攻の時、エルサレム教会の人々は山に逃げたが逃げずに都に留まるべきだったという疑問があった。

しかし主は預言として宣言する。「その時、ユダヤにいる人々は山に逃げなさい」。主は罪に対する神の裁きの中、悔い改めて生きることを望まれる。

それは天変地異の時もそうである。むしろその時、主は「人の子（主イエス）が大いなる力と栄光を帯びて、雲に乗って来る」。そして「地の果てから天の果てまで、選ばれたものを四方から呼び集める」と宣言する。

だからどんな時も、選ばれた者として希望を持って歩み続けるのである。

「明日、世界が終わろうとも、私は、今日、りんごの木を植える」（ルター）。

だから私たちは、この御言葉を心に刻み、「偽メシアや偽預言者」に惑わされないように「気をつけて」歩むのである。主による救いの完成を待ち望み、信仰と希望をもって歩もう。